

(別紙)

## 障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度補正予算分) (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 福井県

### 【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンサンホーム
法人名	社会福祉法人サンホーム
フリガナ	ショウカイフクシエンシセツ カナヅサンホーム
事業所名	障害者支援施設 金津サンホーム
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育児・休職は除く)】	
33.4 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別:  移乗介護  排泄支援  入浴支援  
 移動支援  見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 眠りSCAN 8台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動	1 人	4,500 件	54,000 件	2 分	1,800 人時間	1,800 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
		4,500 件	54,000 件	2 分	1,800 人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

50名の入所者への夜間の巡回サービスを3回実施しているため、ひと月あたり4500件。

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

夜間の巡回は睡眠状態と異変の確認のため利用者一人当たり2分ほどを要する。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
間接業務	6 巡回・移動	1 人	3,780 件	45,360 件	2 分	1,512 人時間	1,512 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認	1 人	90 件	1,080 件	5 分	90 人時間	90 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
		3,870 件	46,440 件	7 分	1,602 人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

眠りSCAN対象の利用者以外の42名の入所者に夜間巡回サービスを3回実施するため、ひと月あたり3780件。  
また、眠りSCANによる状態確認は8人分をまとめて確認することを夜間3回行うので、ひと月あたり90件。

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

眠りSCAN対象利用者8人以外の42名の夜間巡回にかかる時間は変わりなく、各2分を要する。  
眠りSCAN対象者にはPCやタブレットにて8人分をまとめて状態確認するため5分で確認できる。

年間業務時間数想定削減率(%)

11.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

特に心身状態が不安定な利用者や発作のリスクがある利用者には眠りSCANを使用することで、夜間巡回せずに、PCやタブレット上で利用者のバイタルや睡眠状態が分かり、職員は安心して努められるようになった。また、緊急時、異変時はアラームがなり、早期に変調への対応ができるようになった。利用者には夜間、居室に訪問する回数が減り、不必要に巡回しないことで、眠りの浅い利用者でも睡眠を妨げられることがなく、眠れているように感じる。眠りSCANのデータより、利用者の睡眠状態や覚醒状態、動きも一部わかることができ、支援の質の向上につなげることができつつある。

(5)今後の課題

眠りSCANで得たデータを病院受診時にドクターにつなぐときに伝えることが不十分、データを活用しきれていない。

--

(6)気づき等について

夜勤状態の申し送りが不十分で、看護部門につなぎきれていない。  
睡眠状態のデータがばらばらで、睡眠リズムがつかみきれない。ICTチームが機能していないため、データ管理も不十分。

--

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--